

特記仕様書

1 適用範囲

本特記仕様書は、「令和6年度 橋梁長寿命化計画更新業務委託」に適用する。

2 業務目的

本業務は、箕輪町の管理する橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信憑性を確保するための「橋梁長寿命化計画」を更新することを目的とする。

3 業務対象

箕輪町の管理する全144橋を対象とする。

4 業務期間

業務期間は契約日から令和7年2月28日までとする。

5 業務内容

(1) 計画準備

業務の目的・主旨を把握した上で特記仕様書や収集資料の確認を行い業務の基本方針を定め、業務計画を策定する。

(2) 橋梁長寿命化計画の更新

既存の橋梁台帳、橋梁点検データ等を基に、橋梁長寿命化計画を更新する。なお受注者は、業務を遂行する上で疑義が生じた場合は、また下記項目を進めるにあたっては、必ず監督員と協議を行うものとする。

ア 重要な道路ネットワーク上の橋梁選定

橋梁長寿命化修繕計画更新に際し、箕輪町としての地域の幹線的なネットワーク（重要なネットワーク）を整理する。

イ 点検結果の収集

既存の橋梁点検データの収集・整理を行う。

計画を策定する際に、情報に不足等がある場合は監督員と協議のこと。

ウ 緊急の維持修繕が必要な橋梁の抽出

既存の橋梁点検データから緊急の維持修繕が必要な橋梁を抽出するとともに、緊急の維持修繕として必要な処置内容と費用の検討及び内容の検証を行う。

エ 特定の損傷を対象とした予防的修繕の手法検討

既存の橋梁点検結果の分析を行い、予防的修繕の損傷原因を設定し、それぞれの損傷

原因に対して、必要な処置内容と費用の検討及び内容の検証を行う。

オ 一般的な損傷を対象とした予防的修繕の手法検討

既存の橋梁点検結果から抽出された各部材毎の健全度を基にして、対策の部類（処置の目安）を行うとともに、対策の分類に対応した工法と費用の検討及び内容の検証を行う。

カ 各橋梁の重要度の設定

各橋梁についてその社会的・地理的条件から重要度を検討し、点数付け等を行う。

キ 修繕の優先順位の設定

上記にて得られた各橋梁の健全度、修繕工法・費用、重要度から修繕の優先順位を決定する。

ク 年間修繕計画・費用の算出

順位付けされた橋梁に対し、年度毎に修繕費用が平準化されるよう検討すること。
また予防的修繕の費用と対症療法的な修繕の費用を比較し、コスト縮減額を算出する。
これについては、「予防保全型」の管理を行う場合と「更新前提型」の管理を行う場合について、設定した期間における縮減額を算出すること。

（３）橋梁長寿命化計画の立案

上記項目の検討結果を基に橋梁長寿命化修繕計画を策定する。なお計画には、次に掲げる事項を記載する。

ア 長寿命化修繕計画の目的

イ 長寿命化修繕計画の対象橋梁

ウ 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

エ 点検における新技術の活用

オ 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針。

カ 対象橋梁ごとの概ね次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

キ 長寿命化修繕計画による効果

（４）橋梁長寿命化修繕計画の公表について

橋梁の長寿命化及び橋梁の修繕並びに架替えに係る費用の縮減に関する事項を定めた場合には、これを公表するものとする。

公表の方法、内容について提案を行うこと。

６ 管理技術者

本業務に配置する管理技術者は、以下のいずれかの資格を有する技術者を配置しなければならない。

（１）鋼構造物技術士

(2) RCCM (鋼構造物及びコンクリート部門)

7 成果品

成果品は次に掲げる形式で提出とする。

(1) 書類形式 (A 4 ドッジファイル綴り) 2 部

(2) 電子媒体 (CD-R) 2 枚 (Word、Excel 等一般的な office 環境で閲覧可能なもの)